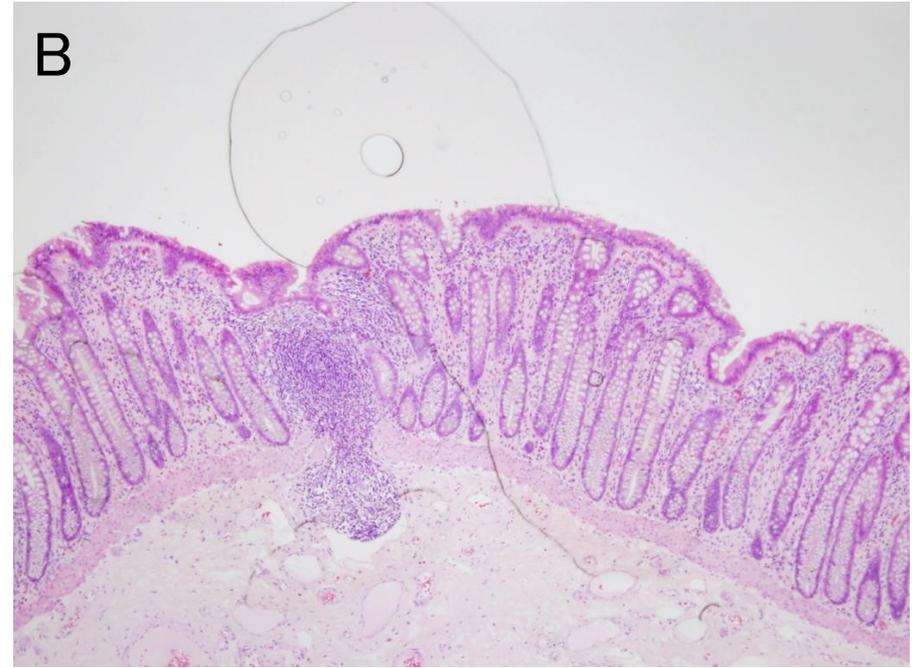
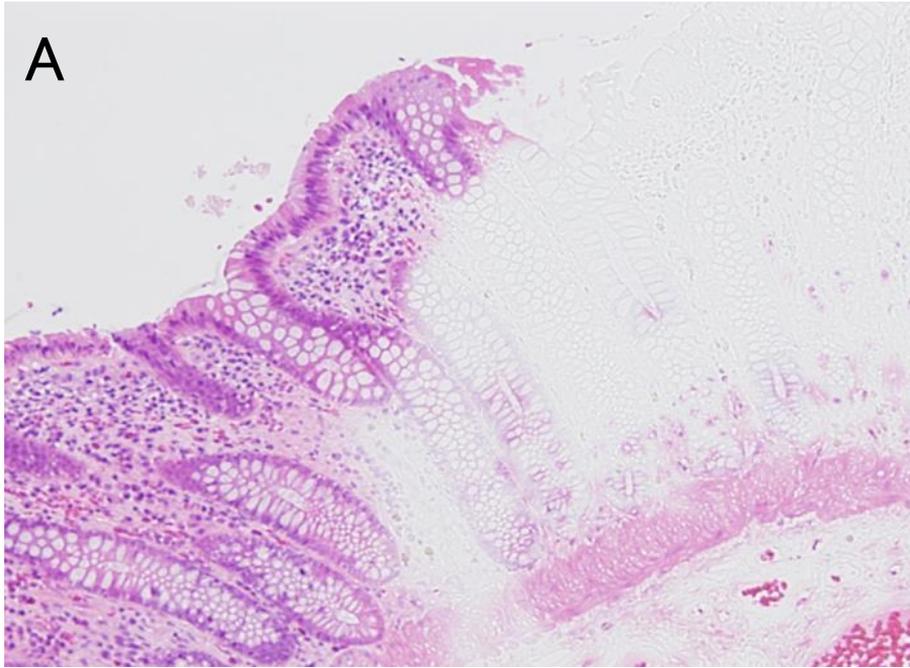


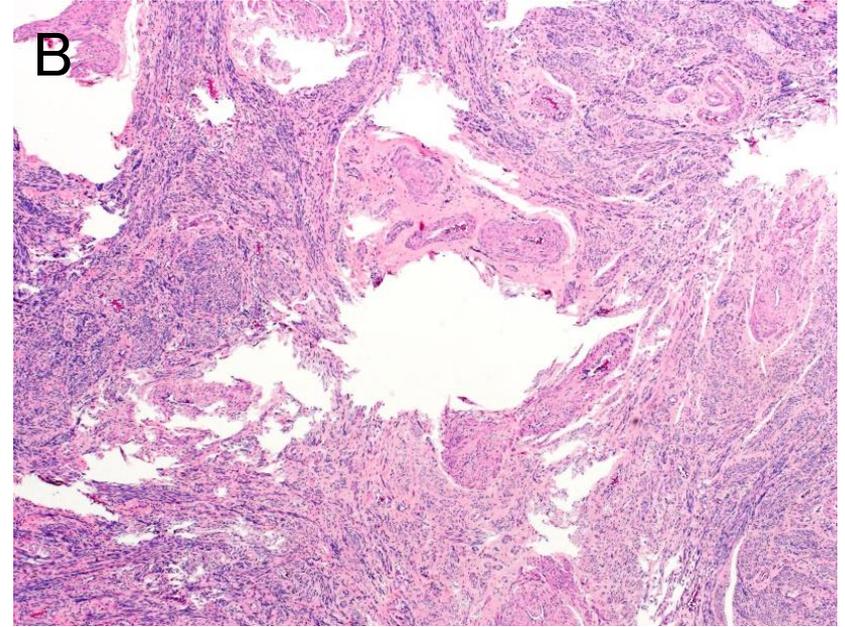
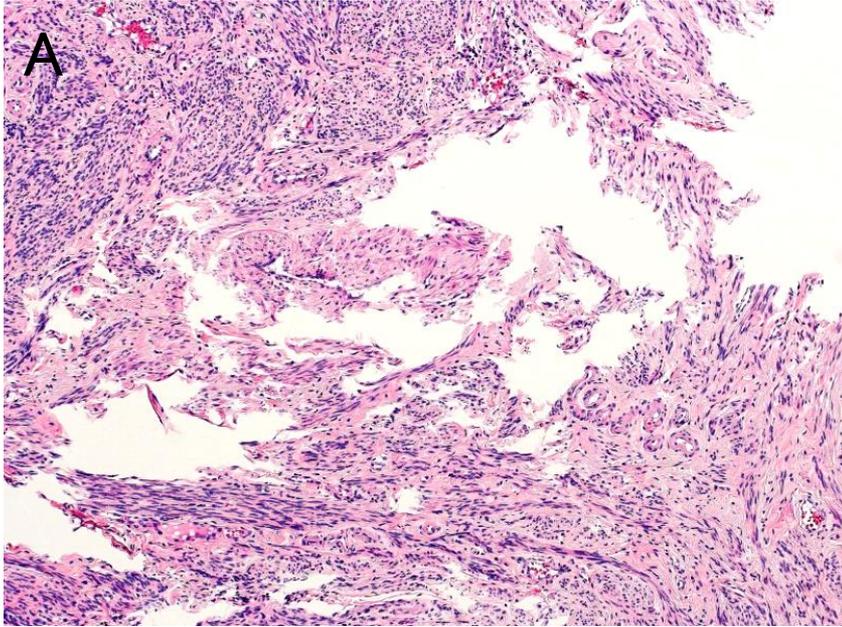
問題1. 写真はHE標本作製時のアーチファクトの写真です。
写真A,Bそれぞれのアーチファクトの原因はどれですか。



解答: ④A脱パラ不良 —B透徹時の脱水不良

写真Aは脱パラ不良によりヘマトキシリンとエオジンに染色されていない標本である。
写真Bは透徹時の脱水不良により、水滴が混入した標本である。封入時の気泡とは明らかに異なる封入物が確認できる。
対策として、脱パラ不良はキシレンに、脱水不良はアルコールにスライドガラスを十分浸漬する。

問題2. 写真に示したアーチファクトの原因として最も考えられるのはどれですか。

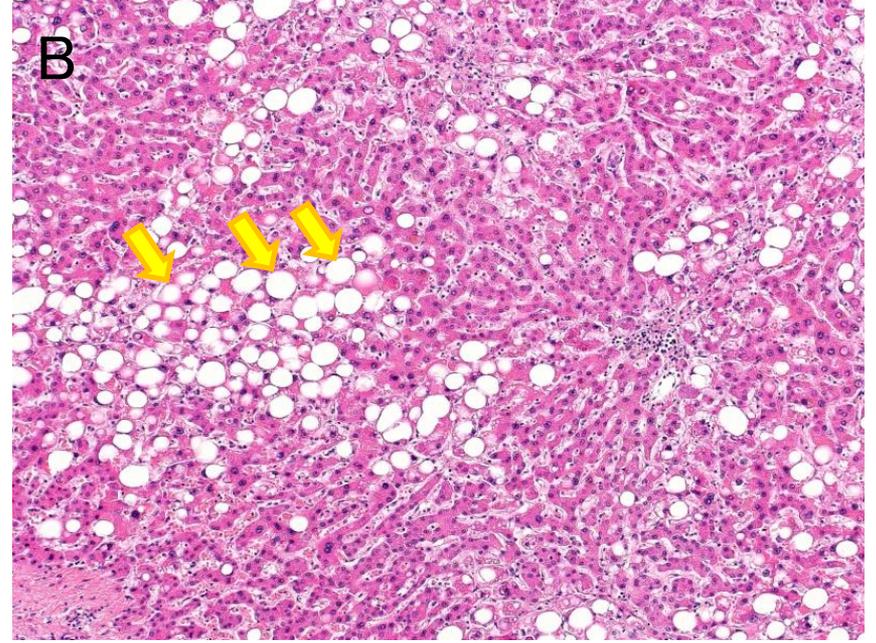
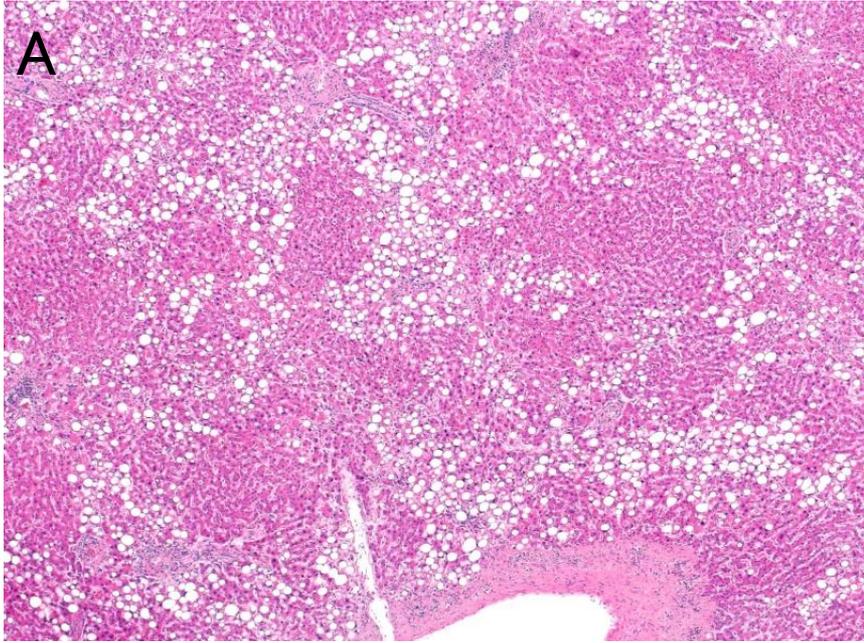


解答: ②面出し不良

写真A、Bともに、地図状に組織の欠如が認められる。

原因としては、粗削り不足で、パラフィンブロック内に組織残量が認められることで確認できる。対策として、粗削りの際は、ブロックに光を当てる、息を吹きかけるなどの操作を行い、面出し確認を行う。

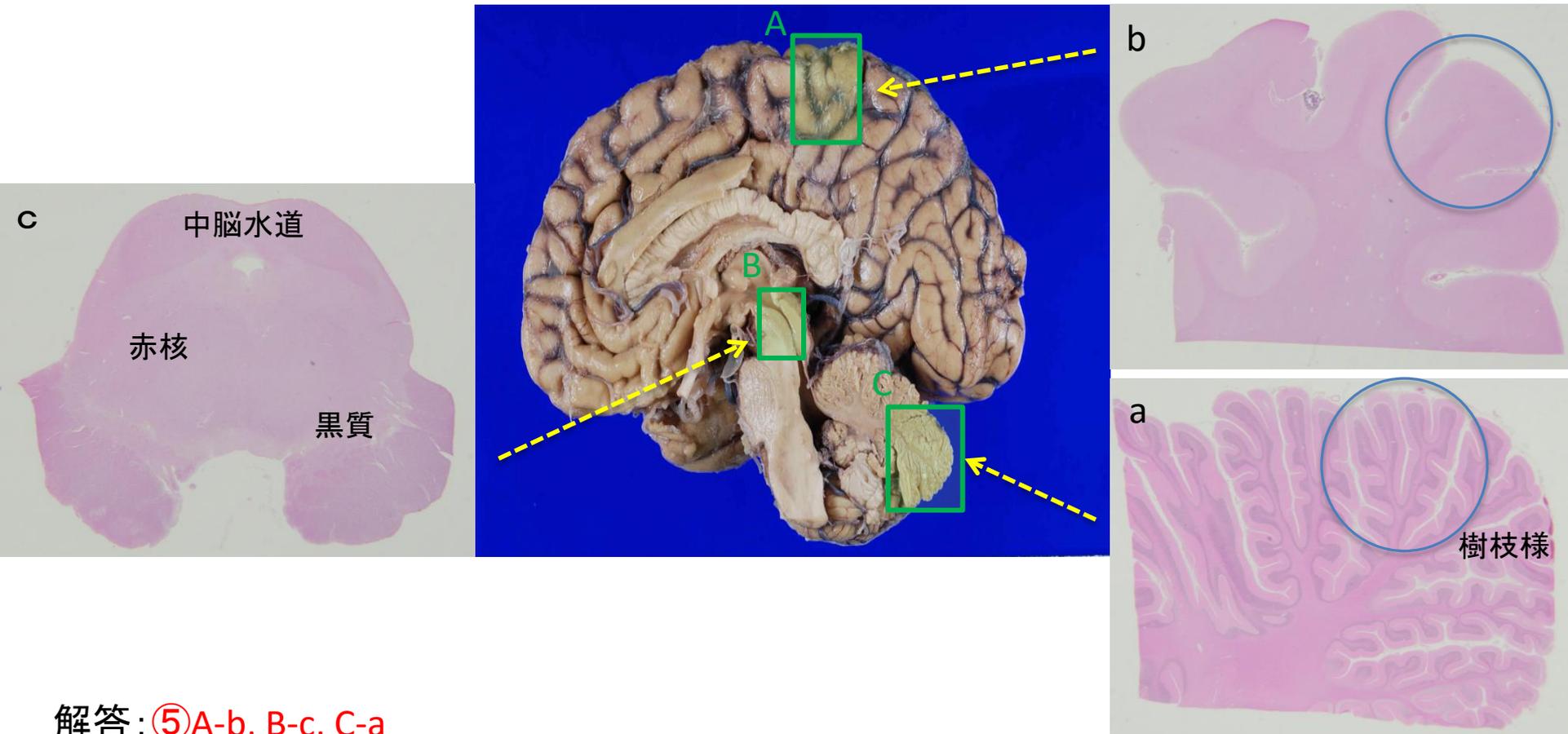
問題3. 肝臓のHE標本です。
矢印(⇒)で示したものは次のうちどれですか。



解答: ②脂質

矢印で示している組織は空胞状の大小種々の脂肪滴で、脂肪肝である。空胞状様に見える組織像の鑑別として、粘液、グリコーゲンが挙がるが、ともに空胞状に抜けて見えることはなく、淡明状である点が異なる。アミロイド、HBs抗原は空胞状に抜けて見えず、アミロイドは無構造の硝子様物質で、HBs抗原はすりガラス状の封入体として観察される。

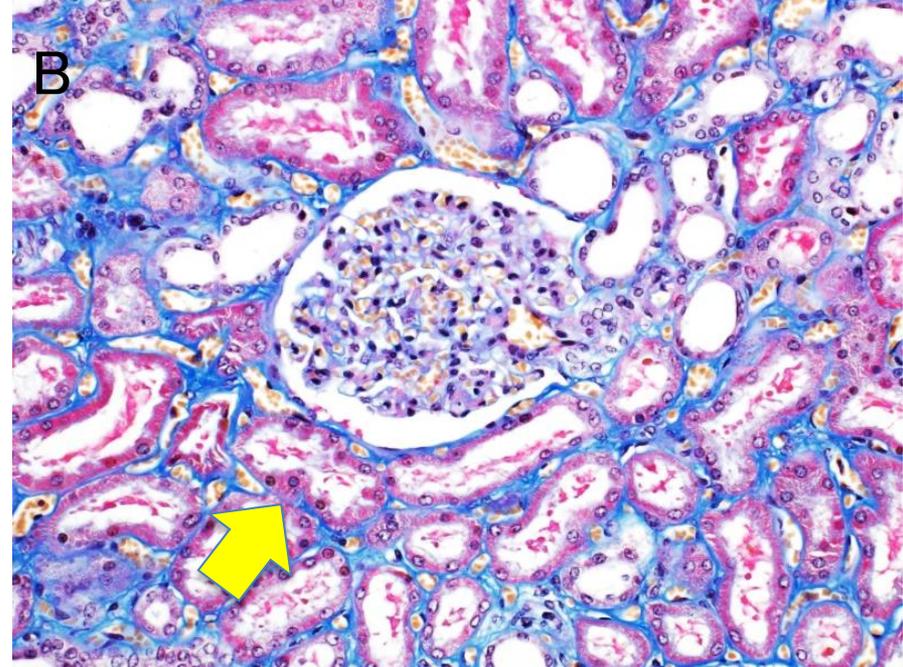
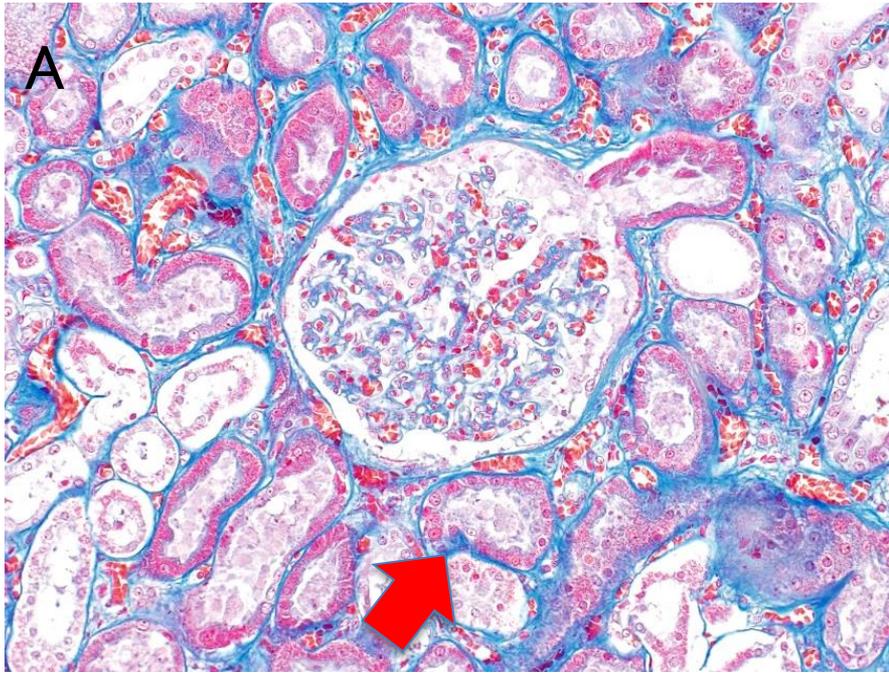
問題4. ホルマリン固定臓器の肉眼所見に示すA～Cの部位(□)とルーペ像a～cの組み合わせで正しい選択肢はどれですか。



解答: ⑤A-b, B-c, C-a

肉眼写真は脳の正中矢状断で、A-大脳、B-中脳、C-小脳である。
A-大脳とC-小脳のHE像は白質(髄質)と、その周囲を取り囲む灰白質(皮質)からなる。
鑑別点として、小脳は樹の幹と枝のようにみえる白質と灰白質からなる。
B-中脳は中心にある中脳水道と赤核、黒質からなる。

問題5. 腎臓の2種類の特特殊染色を示します。
下記のうち正しいものはどれですか。



解答: ②写真AではアゾカルミンG液を用いている。

問題の組織像は腎臓糸球体で、特殊染色は腎糸球体基底膜染色法のA-アザン染色とB-マツソントリクローム染色である。アザン染色は筋線維をアゾカルミンGで、膠原線維、糸球体基底膜をアニリン青・オレンジGによって染色する。マツソントリクローム染色は筋線維をポンソーキシリジン・酸性フクシン・アゾフロキシニンで、膠原線維、糸球体基底膜をアニリン青によって染色する。鑑別点として、マツソントリクローム染色は核は鉄ヘマトキシリンで黒紫色(黄矢印)に染まるが、アザン染色はアゾカルミンGで赤色(赤矢印)である。